

津山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	実践英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0026		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	機械・制御システム工学専攻		対象学年		専2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：Successful Keys to the TOEIC Goal: 500 (KiriHara) 参考書：辞書（電子辞書ふくむ）						
担当教員	ランボー エリック						
到達目標							
[学習目的] 研究結果を学会などで発表し、他の研究者や技術者との交流を通じて、プレゼンテーション・コミュニケーション能力を身につける。 [到達目標] 1.本科で修得した英語コミュニケーション能力を発展させ、身近な事柄及び自分の専門に関する基本的な情報や考えを理解したり伝えたりする基礎的な英語運用能力を身につける。 2.英語によるプレゼンテーション能力を身につける。 3.自分の到達度を測る手段としてTOEICを利用し、履修後にスコアを上げることができる。 ◎技術者や一般市民など、コミュニケーションの対象者によらず相手を理解したうえで、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	身近な事柄及び自分の専門に関する基本的な情報や考えを理解したり伝えたりする基礎的な英語運用能力をよく身に付いている。		身近な事柄及び自分の専門に関する基本的な情報や考えを理解したり伝えたりする基礎的な英語運用能力を身に付いている。		身近な事柄及び自分の専門に関する基本的な情報や考えを理解したり伝えたりする基礎的な英語運用能力をおおむね身に付いている。		身近な事柄及び自分の専門に関する基本的な情報や考えを理解したり伝えたりする基礎的な英語運用能力を身につけていない。
評価項目2	英語によるプレゼンテーション能力を十分に身につける。		英語によるプレゼンテーション能力をおおむね身につける。		英語によるプレゼンテーション能力を最低限は身につける。		英語によるプレゼンテーション能力を身につけられない。
評価項目3	TOEIC400点レベルの語彙、文法、読解、聴解問題を解くことができる。		TOEIC400点レベルの語彙、文法、読解、聴解問題を解くことができる。		TOEIC400点レベルの語彙、文法、読解、聴解問題をいくらか解くことができる。		TOEIC400点レベルの語彙、文法、読解、聴解問題を解くことができない。
評価項目4	技術者や一般市民など、コミュニケーションの対象者によらず相手を理解したうえで、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることができる。		技術者や一般市民など、コミュニケーションの対象者によらず相手を理解したうえで、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることがおおむねできる。		技術者や一般市民など、コミュニケーションの対象者によらず相手を理解したうえで、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることが最低限できる。		技術者や一般市民など、コミュニケーションの対象者によらず相手を理解したうえで、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ることができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別・学習の分野：一般・外国語 基礎となる学問分野：英語・英米文学・言語学・音声学 専攻科学習目標との関連：本科目は専攻科学習目標「（6）校外実習，先端技術特別講義や学協会への参加を通じて、地域社会との連携を図るとともに、地球的視点からものを見ることの大切さを理解する」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（F）コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成，F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。 授業の概要：プレゼンで頻用される表現やテクニックを学習しながら、英語での発表ができるようにする。TOEICテストの準備も行う。						
授業の進め方・方法	授業の方法：授業での表現を利用して自分の言いたいことを英語で表現できるようにする。同時に、TOEICのテキストを用いて、TOEIC受験に向けた対策も進めていく。 成績評価方法：毎週の演習（口頭発表・課題提出・小テストなど）を50%，2回の定期試験の結果を同等に評価する50%						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて1単位あたり4～5時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：授業には積極的に参加し、課題は必ず期限内に提出すること。英語力を判断する手段としてTOEICが広く認められている現状を踏まえ、TOEICを積極的に受験する姿勢を持って欲しい。 基礎科目：英語Ⅳ（4年）、選択英語Ⅰ（4）、英語Ⅴ（5）、選択英語Ⅱ（5）、実践英語Ⅰ（専1） 関連科目：技術英語講読（専1） 受講上のアドバイス：授業前に必ず、予習をしてくる。授業開始後の入室は遅刻とみなし、2回の遅刻で1単位時間の欠課とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
選択							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	年間ガイダンス, e-learning及びTOEICの説明			授業概要を理解する	
		2週	Describing company profiles (products, sales, specifications, etc.) TOEIC Unit 1			Understand company profiles TOEICを受験する準備ができる	
		3週	Quiz; Researching a company and product TOEIC Unit 2			Understand how to research a company TOEICを受験する準備ができる	

		4週	Making visual aids for PPT-1 Describing the role of profit TOEIC Unit 3	Can make good visual aids Understand profit TOEICを受験する準備ができる
		5週	PPT-1 corrections, practice TOEIC Unit 4	Can deliver the presentation smoothly TOEICを受験する準備ができる
		6週	PPT-1を行う、ファイルを提出	Deliver the presentation smoothly, use visual aids effectively
		7週	まとめと中間試験対策 TOEIC Unit 5	TOEICを受験する準備ができる
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	中間試験の答案返却と試験解説 Making your Curriculum Vitae (CV) in English TOEIC Unit 6	Understand CV format and purpose TOEICを受験する準備ができる
		10週	Conducting a job interview in English TOEIC Unit 7	Able to respond effectively in a job interview TOEICを受験する準備ができる
		11週	Start PPT-2 "My CV and Seminar Research" TOEIC Unit 8	Understand how to relate research to job seeking TOEICを受験する準備ができる
		12週	Quiz; PPT-2 corrections, practice TOEIC Unit 9	Can deliver the presentation smoothly TOEICを受験する準備ができる
		13週	PPT-2を行う、ファイルを提出	Deliver the presentation smoothly, use visual aids effectively
		14週	まとめと期末試験対策 TOEIC Unit 10	TOEICを受験する準備ができる
		15週	(期末試験)	
		16週	期末試験の答案返却と試験解説 授業のまとめ	授業のまとめ

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	50	25	0	0	15	10	100
基礎的能力	50	25	0	0	15	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0